

1 . 評価結果概要表

作成日 平成 22年 2月 14日

【評価実施概要】

事業所番号	0 1 9 1 5 0 0 0 4 0		
法人名	松前さくら苑 株式会社		
事業所名	グループホーム 松前さくら苑		
所在地	北海道松前郡松前町字大沢 6 5 2 - 1 3 (電 話) 0139-42-5331		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成22年2月7日	評価確定日	平成22年2月24日

【情報提供票より】(平成 21年 12月 28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 19年 4月 16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 2人、非常勤 8人、	常勤換算 5.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り 平屋建て		
	1 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費:15,000円 日常生活費:10,000円 暖房費:5,000円(10-4月)
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

(4) 利用者の概要 (12月 28日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	1 名	要介護 2	1 名
要介護 3	6 名	要介護 4	1 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 78 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	松前町立松前病院、松前町立江良歯科診療所、小笠原内科消化器科クリニック
---------	-------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

松前町は北海道の最南端に位置し、西は日本海、南は津軽海峡に面し、気候も温暖な歴史ある街である。春には北海道内外から観光客が押し寄せる桜の名所として名高い。「グループホーム松前さくら苑」は松前町の市街地から少し函館よりで、国道から1 Km程山あいには折れた自然豊かな所に位置している。すぐ隣には公営の松前温泉休養センターがある。創業者は長く福祉に携わってから理想とするグループホームをこの地に開設し、現在は奥様が引き継いで運営している。管理者も長く松前町の福祉に携わっており、" 自然の中でゆったりと、楽しく自由にありのまま、共に暮らす " の理念を実践すべく、職員共々利用者の笑顔を増やすべく力を注いでいる。外部評価は今回初めてであるが、改善課題に積極的に取り組み、運営者並びに職員の協働を持って理念に沿ったグループホームを目指し、更なる飛躍を期待する事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回初めての外部評価である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	今回は初めての自己評価でもあり、管理者を中心に作成しその後、職員・役場福祉課・運営推進会議メンバーより意見を聞いて作成している。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	管理者が1年前に交替したこともあり、今年度は2回に止まっている。次回は4月に予定されており、定期的な開催に向けて計画している。運営推進会議は町内会関係者や家族も参加しており、会議の中で「GH松前さくら苑の看板」を設置しては?の意見も出ており、今後とも会議のテーマを決めて充実を図ってほしい。また、会議後の報告書が整備されていないので、報告書を作成することを期待する。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	ほとんどの家族が来訪されているので、その都度家族と話し合える機会を持ち、気軽に話し合える雰囲気作りに努めている。現在、苦情は持ち込まれていない。日頃の状況や病院受診の状況などをその都度報告している。家族への月1回の利用料請求時に合わせて、季節の行事などの写真を載せた"松前さくら苑通信"などを添えて利用者の様子を伝えている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	施設は近所の家々と離れた所に位置しているが、町内会に加入しており、町の行事や町内会の行事に参加している。小学生が来所したり、小学校の運動会や学習発表会にも誘われ参加し、積極的に地域と交流している。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	”自然の中でゆったりと、楽しく自由にありのまま、共に暮らす”という事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を毎朝のミーティング時に唱和し、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町や町内会の行事に参加している。小学校の行事に参加したり、小学生が訪れたりして地域との交流も盛んである。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回は初めての自己評価でもあり、管理者を中心に作成しその後、職員・役場福祉課・運営推進会議メンバーより意見を聞いて作成している。	○	自己評価を職員の内部研修として捉えて、職員自らが自己評価を作成して積極的に活用して行くことを期待する。

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者が1年前に交替したこともあり、今年度は2回に止まっている。次回は4月に予定されており、定期的な開催に向けて計画している。運営推進会議は町内関係者や家族も参加しており、会議の中で「GH松前さくら苑の看板」を設置しては？の意見も出ている。	○	会議後の報告書が整備されていないので、報告書を作成することを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	開所時も松前町より意見を聞きながら設立の経緯があり、現在も生活保護受給者も多数入居しており、連絡を密に取ってサービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日頃の状況や病院受診の状況などをその都度報告している。家族への月1回の利用料請求時に合わせて、季節の行事などの写真を載せた「松前さくら苑通信」などを添えて利用者の様子を伝えている。金銭出納帳もきちんと整理して家族に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ほとんどの家族が来訪されているので、その都度家族と積極的に話し合える機会を持ち、気軽に話し合える雰囲気作りに努めており、意見や不満を表せるように心掛けている。現在、苦情は持ち込まれていない。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職はなく、利用者と馴染みの関係を続けている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員を育てるための研修に積極的に取り組んでおり、町内外の研修に参加させている。研修報告書も作成している。最近も「口腔ケア」の内部研修を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	渡島のネットワーク交流会には距離的にも遠いので年に1～2回程度しか参加できていないが、近隣のグループホームとは交流して情報交換している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に本人・家族と十分面談し何回か検討を重ねた後で入所してもらっている。入居後も利用者の状態にきめ細やかに対応するため、家族に電話連絡などして馴染めるように工夫しながらサービスを行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者との会話から学ぶことも多く、積極的に利用者とは接するように心掛けている。塗り絵・唄・各種ゲーム・手作りカルタ・体操踊りなど、職員と利用者は一緒に過ごしながら共に学び支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時の本人・家族の面談から利用者の生活歴を把握し、日常の生活は全てケース記録に残し、職員は一人ひとりの思いや意向を組み、日々のケアに取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族からの意見を聞き、職員全員でモニタリングし、その後管理者と介護主任とで検討し、ケアプランをまとめて介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入所時は3ヶ月でモニタリングし、その後介護計画の見直しも3ヶ月ごとに行っている。家族の意向や状況の変化により随時見直しを行い、きめ細かに作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の要望を取り入れ、外出・買い物・受診対応など様々な支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期検査として1ヶ月ごとに松前病院を受診し、送迎している。毎週、訪問歯科診療を受けている。適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今のところ対象者はいないが、ターミナルケアに向けて取り組もうとしている。	○	今後とも書類の整備を含めて、地域包括支援センターや協力病院と話し合い、ターミナルケアに向けた方針の共有の実現に向けての取り組みを期待する。
5. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者のペースを大切にするを基本として穏やかに優しく対応しており、プライバシーにも配慮している。記録などについては事務所で保管・管理している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの個性と体調に合わせ、その人らしい生活が送れるよう支援している。天気の良い日はほとんど散策などにも出かけ、一人ひとりの希望により臨機応変に支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は一人ひとりの能力に合わせて、調理の下ごしらえや食事の準備、後片付けを一緒にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、月・火・木・金の午後の内で週2回の入浴プランを立てて、本人の希望に沿って支援している。隣には公営松前温泉保養センターがあり、温泉も楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	春から秋は畑仕事や収穫を楽しんだり、冬は雪かき、また温泉に行ったり、散歩に出かけたり、施設の周りに花壇を作って楽しんでいる。室内では貼り絵・塗り絵・折り紙・習字・ちぎり絵・口の体操など、一人ひとりに合った役割や楽しみ、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	受診日や買い物に同伴して出かけている。天気の良い日は近所に散歩に出かけ、利用者の五感を刺激している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には元々鍵が設置されていない。日中は玄関に鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、年1回(昼間想定)避難訓練を行っている。	○	年2回(昼間想定・夜間想定)の訓練を臨む。近所には家がないので、運営推進会議のメンバーにも事前に連絡して参加してもらえる体制作りの取り組みを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員の中に栄養士がおり、食事の偏りがないよう支援している。水分量については個々に極端な偏りがないように、一日を通じて必要摂取量が確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はゆったりとしており、程良く陽も射し込み明るく自然の温くもりが溢れている。共用の和室も用意されている。所々に郷土を感じ取った内容の俳句が飾られ、居心地良く過ごせるような工夫がなされている。清潔が保たれており不快な臭いや音は感じない。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの家具や生活用品があり、居心地良く過ごせるようになっている。また職員手作りの額縁の中に利用者の写真が飾られており、快適に過ごせるように配慮されている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。